

様式 6

平成 16 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

- 1 . 研究種目名 特定共同研究 (A) 2 . 課題番号 2004-A-19
- 3 . 研究課題 (集会) 名 和文 : 地殻活動総合データベースの開発
英文 : The development of earth crust activity integrated database.
- 4 . 研究期間 平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日
- 5 . 研究場所 地震研究所、東北大学、など
- 6 . 研究代表者所属・氏名 東北大学大学院理学系研究科・海野 徳仁
(地震研究所担当教員名) 佃為成・鷹野澄
- 7 . 共同研究者・参加者名 (別紙)
- 8 . 研究実績報告 (成果) (別紙にて約 1,000 字 A4 版 (縦長) 横書) (別紙に作成)

10・成果公表の方法 (投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等)

備考

・研究成果を論文等で発表される場合、以下の形式の文章を謝辞等に記載して下さい。

(英語) This study was supported by the Earthquake Research Institute cooperative research program.

(和文) 本研究は、東京大学地震研究所共同研究プログラムの援助を受けました。

・特定共同研究 B については、プロジェクト終了年度に冊子による報告書の提出が必要です。

・研究成果について、本所の談話会、セミナー、「広報」での発表を歓迎いたします。

別紙

7. 共同研究者・参加者名

共同研究者名	所属・職名	備考	
海野 徳仁	東北大学 教授	代表	
笠原 稔	北海道大学 教授		
小菅 正裕	弘前大学 助教授		
大見 士朗	京都大学 助手		
植平 賢司	九州大学(島原) 助手		
後藤 和彦	鹿児島大学 助教授		
木村 昌三	高知大学 助教授		
高濱 聡	気象庁		
関口 涉次	防災科学研究所 主任研究員		
鶴岡 弘	地震研究所 助手		
佃 為成	地震研究所 助教授		担当教員
鷹野 澄	地震研究所 助教授		担当教員

8. 研究実績報告(成果)

日本列島及びその周辺域を対象として、これまで各大学や観測機関で蓄積されてきた地形、重力、地殻構造、地殻変動、地震活動等の基礎データを整理・統合し、地殻活動予測シミュレーションモデル開発の基礎となるデータベースを開発することを目的として、各大学において、ア.日本列島地殻活動情報データベースの構築、イ.地殻活動データ解析システムの開発、ウ.古い地震記象の整理とデータベース化、などが開始された。

地震研究所では、所内に古地震・古津波記録委員会(島崎委員長)をつくり、地震研究所が保管する古い記象の整理・提供を進めた。平成16年度は、古い津波記録約1万枚のマイクロフィルム化とスキャナーデータの作成を実施した。また、すでにマイクロフィルム化された資料のスキャナーデータの作成について研究を行った。マイクロフィルムの中には、記録がうすくて、実用に耐えうるようなスキャナーデータが得られるかどうか難しいものが少なくなく今年度は試験的作成にとどめている。

一方、今年度からスタートした、海溝型地震に関する調査研究(RR2002)の過去の地震記録整理委員会では、源記録からのスキャンを実施している。本共同研究プロジェクトもこれに協力し、地震研究所では、HES 記録について源記録を提供している。本共同研究としては、このための研究打合せを実施した。

以上